

# 寸言

スカパー JSAT 株式会社  
執行役員常務  
宇宙事業部門長代行  
兼 宇宙安全保障事業本部長  
石井 満



## スカパーJSATの安全保障への貢献

スカパーJSAT株式会社 宇宙事業部門 宇宙安全保障事業本部の石井満です。この度は、寄稿の機会をいただき、誠にありがとうございます。

本稿では、スカパーJSATグループの安全保障への取り組みについてご紹介いたします。スカパーJSATは、通信衛星を利用した衛星通信事業を祖業とし、1989年に日本で初めて商用衛星通信事業を開始しました。以来35年間、衛星通信を通じて安全保障に貢献してまいりました。

近年、国際情勢、とりわけ、わが国を取り巻く環境の変化を受け、宇宙空間の重要性は増しており、当社は「つなぐ」「とらえる」「まもる」の3つの視点から安全保障への貢献を強化しています。

### (1) つなぐ

#### ①ソフトウェア定義衛星 (SDS)

技術の進化により、衛星通信は柔軟性を増しています。打ち上げ後に通信ビームの照射範囲や強度を変更できるソフトウェア定義衛星 (SDS) を導入することで、電波干渉を回避し、通信の安定性を確保することが可能になります。弊社は2027年度以降、2機のSDSを軌道上に投入する計画です。

#### ②光データリレーサービス

Space Compass社をNTTと合弁で設立し、光データリレーサービスの準備を進めています。これにより、日本上空以外で取得した地球観測データを準リアルタイムで国内に伝送できるようになります。

高解像度・大容量のデータも、低遅延かつ安定した通信環境での利用が可能になります。

### (2) とらえる

#### ①低軌道地球観測衛星コンステレーションの構築

2015年からPlanet社と提携し、同社の画像データを提供してきました。さらに、最新鋭の観測衛星10機を購入し、弊社独自のコンステレーションを構築する計画です。

2027年度にはフル稼働し、数十分おきに同一地点を撮像できる体制を整えます。これにより、迅速な情報提供が可能となり、安全保障分野における意思決定の精度向上が期待されます。

### (3) まもる

#### ①宇宙状況把握サービス (SSA)

静止軌道上の監視サービスを開始予定です。光学望遠鏡を活用し、定点監視カメラと近接撮影カメラの2種類を搭載することで、静止軌道の監視精度を向上させます。これにより、日本の衛星資産の安定運用を支援します。

#### ②量子鍵配送サービス

小型衛星を利用した量子鍵配送プロジェクトにも参画しています。光ファイバーが届かない地域や海上・航空機向けの鍵配送を低コストで実現し、安全な通信環境の提供を目指しています。

### おわりに

私もスカパーJSATは、衛星通信事業を通じて培った経験やノウハウを活かしながら、地球観測事業に進出するなど活動領域の拡大に取り組んでおります。安全保障分野においても、弊社の持つ知見を活かしながら、衛星通信や地球観測、宇宙状況把握などの分野で革新をリードし、宇宙利用の拡大に貢献してまいります。また、国際的な取組みにも積極的に参画し、宇宙空間の持続可能性の維持・向上にも寄与してまいります。